

アマラウ・ビエイラ ピアノ・リサイタル



1952年にサンパウロに生まれたアマラウ・ビエイラ。ピアノと作曲の才能を幼少時代から発揮し、ブラジル音楽界きっての神童として名を馳せ、若干13歳でパリ音楽院に留学。ピアノをリュセット・デガーヴに、作曲をオリヴィエ・メシアンに師事しました。ヨーロッパの空気の中で磨きかけた強靱なテクニック、作曲家ならではの深い楽曲研究、理論的に曲の本質に入り込む、内面的緻密さに裏打ちされた演奏は高く評価され、15歳からドイツのフライブルク国立音楽大学で、22歳からロンドンへ留学するなど、一つの流派に偏ることなくコスモポリタンとして、音楽の才能に磨きをかけました。

25歳でブラジルに帰国してからは、500曲を超える自身の作品の録音、リストの版曲の初録音を始め、幅広く活躍。祖国ブラジルでは、西洋音楽のラテン・アメリカでの初演を多数行うなど、精力的に活躍。これまでにアーサー・オネゲル国際作曲賞、フランス作曲財団国際大賞、リスト没後百年祭にハンガリー政府より贈られたリスト賞等を授与されている。

男性的な力強い超絶技巧の数々で知られるビエイラですが、ピアノの性能を極限まで活かした演奏は、近東、欧米諸国、ラテン・アメリカ、そして日本を初めとしたアジア諸国などクラシックのピアニストとしては驚異的

な範囲で支持を得て、圧倒的なコンサート回数を誇っています。特にショパンやリストなど、高いテクニックを求められる曲では、テクニックを超えた感動を呼び起こすピアニストとして、ラテン男ならではの情熱的な演奏に定評があります。ピアノの楽しさを本能的に伝えてくれるピアニストです。

今回が8度目の来日公演となるなど、日本でもすっかりお馴染みとなり、ビエイラ自身のオーケストラ作品等をCDリリースするなど、多彩な活動で展開。日本との繋がりも年々強まっています。進化が止まらないビエイラの世界にご期待ください。

出演者	アマラウ・ビエイラ (ピアノ)
予定曲目	未定
予定開催地域	名古屋、四日市、伊勢、岡崎、秋田、いわき、盛岡